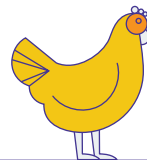
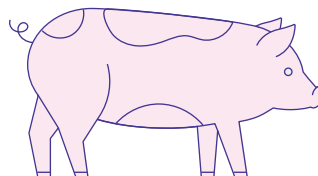


知性を養う



GMO作物と飼料

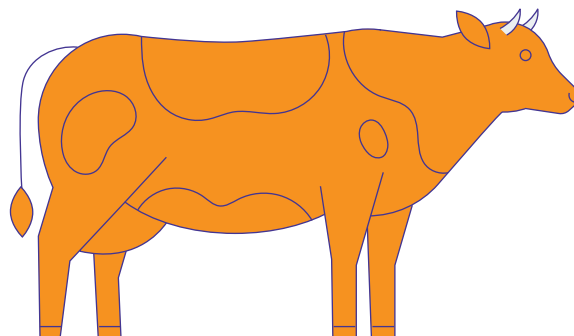


家畜はGMO作物を食べていますか？

米国で肉や乳製品に使用されている家畜の95%以上がGMO作物を食べています。研究では、GMO飼料を食べた家畜の卵・乳製品・肉は、非GMO飼料のみを食べた家畜から得られた食品と比較して、栄養価、安全性、品質において同等であることが示されています。

また、試験¹によって、GMO飼料と非GMO飼料のどちらを食べても、家畜の健康および安全性は変わらないことも示されています。

家畜がGMO飼料を食べても、GMO飼料中のDNAがそれを食べた家畜のDNAに移行することはありません。つまり、GMO飼料を食べた家畜がGMOに変化することはないのです。もし飼料からそれを食べた家畜へとDNAが移行するなら、家畜はGMOであろうとなかろうと、食べたものすべてのDNAをもつことでしょう。言い換えると、牛は草を食べても草になるわけではないし、鶏はトウモロコシを食べてもトウモロコシになるわけではない、ということです。同じように、GMO飼料のDNAがそれを食べた家畜の肉や卵、乳に含まれることはありません。



誰が飼料の安全性を確認するのでしょうか？

米国食品医薬品局（FDA）は、家畜用のGMO飼料および非GMO飼料の安全性を保証する主要な規制当局です。この責務はFDAの動物用医薬品センターが管理しています。FDAは、すべての飼料が家畜にとって安全であり、清潔な環境で製造され有害物質を含まず、正しい表示がなされることを求めています。これは人間のための食品と同様の要件です。

GMOに関する詳細は
www.fda.gov/feedyourmind をご覧ください。



¹<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/25184846>

2020年9月